

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録（書面会議）を公表します。

| | |
|-----------|---|
| 会議名 | 第6回高松市都市計画道路網検討委員会（書面会議） |
| 開催期間 | 令和3年9月14日（火）から10月15日（金）まで |
| 開催方法 | 書面会議 |
| 議 題 | （1）基本方針・検討手法について |
| 公開の区分 | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 |
| 上記理由 | — |
| 出席委員（回答者） | 紀伊委員長、太田委員、岡田委員、西成委員、 安達委員、奥村委員、佐治委員 |
| 傍聴者 | — |
| 担当課及び連絡先 | 都市計画課 TEL：087-839-2455 |

会議経過及び会議結果

都市計画道路網の再編に向け、これまでに見直し対象路線や見直しの必要性の検討等を議論しており、今回、見直しに係る基本方針や検証方法について取りまとめた内容について、意見聴取を行った。

【頂いた意見及び市の方針等】

（委員）

高松市の将来にとっても重要な都市計画道路網計画となるが、可能な限り定量的なデータをもとに、道路網再編を検討していく方向性には全く異論はない。

ただ、そこから漏れる定性的な価値（歴史文化的価値、ウォークブルなまちの魅力など）についても、定量的なデータと同格に扱う必要があると思う。

（市の方針等）

都市計画道路網の再編にあたっては、検討フローに沿って、定性的、定量的な評価を行うこととしております。いずれの評価段階も都市計画道路の存廃に係る大切な過程であるため、同等に評価・検証を行ってまいります。

(委員)

定性的価値から特に重要な検討路線としては、区間 14 兵庫町西通町線（旧丸亀街道一部とコープ昭和町店東側を通る路線）と区間 15 瓦町松島線（瓦町駅東口駅前広場）が挙げられる。

区間 14 についてはその存廃とともに、実施するのであれば歴史的エリアとしての歩行者空間のデザイン検討が必要かと思う。

区間 15 については、今後の都市規模からも速やかに実施が必要かと思うが、単なる交通施設ではなく、コンパクトシティの拠点となりうる場所の空間デザインと運営手法の検討が必須になると思う。

(市の方針等)

都市計画道路網再編にあたってのステップフローのうち、必要性の検証では「求められる機能」及び「整備上の課題」について定性的な評価・検証を行います。

検討の結果、存続となった都市計画道路につきましては、周辺のまちづくり等と整合性を図りながら、計画的にかつ効果的に整備を行いたいと考えております。

(委員)

P17 の定量的検証において、現在の道路ネットワークに対する、整備パターン別のアクセシビリティの空間分布の差を分析されたい。

アクセシビリティが改善する場合、開発圧力が高まると想定され、立地適正化計画等との整合性の確認が必要と考えられる。

住宅立地については、高松駅等主要拠点までの時間に基づくアクセシビリティでよいと考えられるが、商業機能の立地への影響を考えると、人口を重みとした当該地点のアクセスのしやすさの評価が必要と考えられる。500m メッシュ程度で評価すると整備有無の空間的影響が読み取れると思う。

以上